

# てしかが歴史写真館 135



皆さまに支えられて四半世紀

弟子屋町の先人に感謝し、歴史を後世に語り伝えるために、細川音治氏を中心に「弟子屋町郷土資料館を建設する会」が設立されたのは1986(昭和61)年です。

その後、事情により会の名称が「てしかが郷土研究会」と変更されました。設立から今年で26年を迎えます。その間、町民の方から寄せられた資料は5,000点を超えました。資料は元管林署庁舎跡(てしかがの蔵)に展示され、一般の方や児童生徒が歴史を学ぶ場となっています。

会では、見学の希望がある場合は会員による案内・説明を行うことにしています。弟子屋について大いに学んでほしいと願っています。

昨年の弟子屋神社祭に合わせて「てしかがの蔵」を開放した際、40年ぶりに弟子屋を訪れたという女性が、写真を見ながら涙を流す姿に触れました。この方は、弟子屋町に何年か住んだ後、現在は東京に住んでいるとのことでした。貴重な資料を大切に展示してくれたことへの感謝の言葉を述べて帰っていきましたが、郷土研究会としての活動結果が認められたようで感動されました。

てしかがの蔵1階の写真展や2階の資料展、種市左改展、永田洋平展などは、年間を通して見学することができます。自治会や団体などの事業に活用されることを望んでいます。

てしかが郷土研究会(菊池)



## 「よく頑張ったね」

6月8日に行われた、第60回弟子屋町家畜共進会での1コマです。丹精込めて育てた牛や馬の審査結果に、思わず笑みがこぼれる場面も。わが子のようにいとしそうに牛や馬を見つめる姿が印象的でした。  
(参考記事21ページ)

Public relations magazine

2012.7 No.695

# てしかが

## 主な内容

- 第5次弟子屋町総合計画の前期実行計画…②
- 「少年の主張」弟子屋大会…⑧
- 平成23年度弟子屋町財政の状況…⑩
- 子育て応援医療費還元事業が始まります…⑬
- 節電の夏…⑭
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設…⑳

てしかが 2012.7

毎月1回発行 発行/弟子屋町 編集/企画財政課 ☎482-2913 ㊟482-2696  
〒088-3292 弟子屋町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています

基本構想(まちの将来像・地域コンセプト)

水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち



まちづくりの基本目標(まちの10年の計を考える)

**環** 人と自然が共生するまちづくりを進めます  
～豊かな自然を守るために～

まちづくりの柱  
自然環境の保全と活用／循環型社会の構築

**活** まちに活力・活気・雇用を生み出すまちづくりを進めます  
～元気なまちをつくるために～

まちづくりの柱  
観光と農業を柱とした地域活性化の推進／雇用・新産業の創出／足腰の強い産業育成

**暮** 誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます  
～生き生きとした生活を送るために～

まちづくりの柱  
保健医療体制の充実／地域福祉の充実／子育て支援／生活基盤の向上／安全・安心の確保

**育** 豊かな心を育て、文化を大切にすまちづくりを進めます  
～健やかな生涯を送るために～

まちづくりの柱  
学校教育の充実／社会教育活動の推進／文化・スポーツ活動の推進



まちづくりの基本手段(基本目標を達成するための下支え)

**人** まちづくりに興味と関心を持ち、行動する人を育てる仕組みを作ります

まちづくりの柱  
人材育成・人づくり・人材の確保／まちづくりを支えるネットワークの形成・交流活動支援

**公** 誰でもまちづくりに参加することができる場や体制を作ります

まちづくりの柱  
ともに汗をかき進めるまちづくり／時代に即し、透明度の高い行政運営

今月は、基本目標の1つめ「環 人と自然が共生するまちづくりを進めます」について、次ページから紹介します。

# あなたの力が必要です



## 10年後 みんなで輝くために

広報でしかが4月号でお知らせしたとおり「第5次弟子屈町総合計画(計画期間/2012年度～2021年度)」が策定されました。

本計画では、10年後のまちの将来像(基本構想)を「水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち」とし、実現のための4つの基本目標と2つの基本手段を定めました。これらについては、広報でしかが6月号に折り込んだ「第5次弟子屈町総合計画(ダイジェスト版)」でご覧いただけます。

将来、まちがこの目指すべき姿を達成するためには、私たちが手を取り合い、行政と町民の皆さん、関係機関などが協力していくことが大切です。

今月から数回にわたり、基本目標と基本手段実現のための前期実行計画や具体的な事業計画についてお知らせしていきます。

### 第5次弟子屈町総合計画の前期実行計画



景観緑肥のヒマワリ



毎年行っている屈斜路湖への魚の放流事業



昨年川湯中学校で行われた環境学習

## まちづくりの基本目標

# 環 人と自然が共生するまちづくりを進めます ～豊かな自然を守るために～

本町は、65%が国立公園区域内にあり、摩周湖や屈斜路湖、硫黄山などの美しい湖や雄大な景観、川湯温泉や摩周温泉、豊かな森林と水資源などの自然条件に支えられ、観光や農業を中心に発展してきました。

豊かで恵まれた自然環境は本町に与えられた宝であり、地域の資源として次世代へ残していくことと健全に活用していくことは、地域の持続的な発展を目指す私たちの使命です。

自然環境を適正に保全・管理し、健全な活用を組み合わせ、人と自然が共生する循環型のまちづくりを進めます。

## まちづくりの柱・施策(前期実行計画)・施策メニュー

### 自然環境の保全と活用

※下線部分については、5ページ下「用語の説明」参照。

施策	施策メニュー		協働方針
守る自然と活用する自然との調和	屈斜路湖の適正利用	屈斜路湖の自然環境を保全するため、町民・関係機関・受益者など多様な関係者による検討を進め、適正利用のルールを確立します。	
		魚の枯渇を防ぐため、放流事業を継続して実施します。	
	大気・水・土壌の汚染対策	環境保全への意識を高めるため、研究機関による調査結果や公害に関する知識の普及啓発に努めます。	
		河川や湖への排水流入の低減に努め、町の水環境の保全を図ります。 屈斜路湖の水質調査を継続して実施し、酸性化などの現状把握や水質汚染の監視に努めます。	

施策	施策メニュー		協働方針
適切な風景形成の推進	統一感を持った全体風景指針づくり	景観法・北海道景観条例など関連する法令に即した景観施策の見直し・策定を進めます。	
		優れた自然景観と調和の取れた農業景観を創出するため、景観緑肥作付けや農家沿道の景観づくりを推進します。また、農地の荒廃を防止するため、農業関係機関との連携体制を強化し、離農や耕作放棄地、未立木地の発生を食い止めます。	
景勝地の保全と整備		摩周湖世界遺産活動や阿寒国立公園名称変更に関する今後の方針について、検討を進めます。	
		研究機関による摩周湖、屈斜路湖に関する学術的調査を継続して支援し、調査結果の公開周知・活用に努めます。	
		阿寒湖国立公園計画の施設計画などに即した景勝地の保護と利用施設の整備、活用に努めます。	

#### 用語の説明

- ゾーニング/用途地域の指定など、地域・地区によって土地の利用を面的に規制していくこと。
- エコツーリズム/自然環境のほか、文化や歴史などを観光の対象としながら、その持続可能性を考慮する旅行やレクリエーション。
- グリーンツーリズム/緑豊かな農山漁村地域で、自然や文化、人々との交流を楽しむ、滞在型の旅行やレクリエーション。
- マイスター制度/特定分野において、職人やプロフェッショナル(専門家)などを認定する制度。
- 景観緑肥/緑肥とは、栽培している植物を収穫せずにそのまま田畑にすき込み、植物と土と一緒にして耕して、跡から栽培する作物の肥料とすること。景観緑肥は、ヒマワリやコスモス、シロカラシなど、景観に配慮した緑肥のこと。

施策	施策メニュー		協働方針
守る自然と活用する自然との調和	適正な保護と活用のゾーニング	本町独自の土地・施設利用計画を策定し、自然地域の適正な保護と活用を目的としたゾーニングを構築します。	
		自然地域の適正な保護や生活環境との調整を図りながら、農地や森林の保全に向けた計画的な土地利用に努めます。	
	土地情報の管理	地籍調査の成果を、ゾーニングなど土地政策の基礎資料として有効活用するため、地図情報のシステム化を進めます。	
	エコツーリズムの推進	豊かな自然環境を「保護」と「活用」により持続させるため、エコツーリズムを推進します。	
	環境教育の充実	各学校で定める環境教育全体計画により、児童生徒への環境教育を推進します。	
		学校、企業・団体で、環境教育指導者の育成を図ります。	
	野生動植物対策	野生動植物との共生に向け、有害駆除の実施や、食材などへの有効活用を図ります。	
		町内に生息・自生する希少種と外来種について、現状把握を行い、対策を講じます。	
	森林資源の保全と活用	森林保全に必要な業務施行・地域活動を支援し、森林の保全と活用の推進を図ります。	
		間伐材の活用など収益事業の創出などにより、森林経済基盤を安定させて、森を守ります。 植樹祭などの森林づくり活動を継続して実施し、森林に対する興味・関心の高揚を図ります。	
保全と活用の担い手の育成	環境保全をエコツーリズムやグリーンツーリズムによる観光振興と連動して推進するために、マイスター制度やガイド育成などによる人材育成を図ります。		

#### 協働方針について

町民の皆さんの協力や参画を得て、主に行政が取り組む協働



町民の皆さんと行政がこれまで以上に協力しながら進める協働





総会であいさつする徳永会長

てしかがえこまち推進協議会（会長・徳永町長）の総会が5月27日、役場で開催されました。総会には会員約40人が出席。平成23年度事業決算報告と平成24年度事業計画を承認しました。

新年度は、地域の持続的な発展に寄与するため、さまざまな事業に着手。また、構成団体や、さまざまな組織との連携を強化し、地域づくり団体としての的確な事業推進を進めること。「誰もが自慢し、誰もが誇れる町」を目指し、本町観光振興のさら

# えこまち推進協 40人で定期総会

## 昨年度活動の総括と新年度の取り組みを承認

なる活性化を図るための事業を行うことを確認しました。新規事業としては、エコツーリズム推進部会の「てしかがスタイルのエコツーリズム推進方針策定」や、女性部会の「てしかがキラリスポット」などを決定しました。

徳永会長は「成果として環境省からのエコツーリズム大賞優秀賞を受賞し、全国から注目されている」とした上で「観光まちづくりのトップランナーとして未来を見据えた地道な取り組みはもちろん、喫緊の課題解決に向けてのさまざまな取り組みや活発な議論を引き続きお願いしたい」と訴えました。

引き続き、来賓としてお祝いに駆けつけた、北海道釧路総合振興局の村井悟局長、八幡豊行町議会議長がそろって祝辞を述べました。

総会では平成23年度の事業報告として、80回を超える部会の開催や「てしかがえこまちジュニア事業」「メイドin てしかがガイド」をはじめとする各種事業実施を報告。平成24年度は、昨年度からの継続事業を主体とし



熱心に語る講師の山田さん

て取り組んできた「てしかがスタイルのエコツーリズム方針策定」などの予算案、事務局が専門部会長会議や役員会を経て提案した各議案について審議し、その全てについて全会一致で承認しました。

終了後、引き続き行われた記念イベント「どあつと未来転換フォーラムV.012」では、NHK釧路放送局ディレクターの花岡利一さんが「私の感じたえこまち推進協」と題して講演。その後、町内で活躍されている4氏から活動の内容や当町の弱点などについての意見発表があり、本町の将来像や協議会のあり方などについて、参加者との意見交換が行われました。

## 目指せ観光甲子園本戦

弟子屈高校（宮嶋衛次校長）では、総合的な学習の一環で昨年度から取り組んでいる観光甲子園本選への出場を目指し、4月25日、5月25日に観光講座を開きました。

開きました。観光甲子園は、全国の高校生が地域振興の

ための観光プランを企画して競うもので、今年で4回目。昨年は予選を突破することができませんでした。

講座は3年生が対象で、63人が受講。町の観光担当者や、同観光まちづくりアドバイザー・山田桂一郎さんが講師を務め、地域の経済情勢や観光に関わる地域の魅力の再発見について、熱心に聞き入っていました。山田さんは「プラン実施の

効果、採算性、将来性をしっかりと研究し「今だけ、ここだけ、あなただけ」という地域性、個性、創造性、そして、付加価値の高さが大切」とアドバイザー。さらに「地元の魅力を再発見し、お客さまや住民みんなの「感幸」を目指して頑張ってください」と激励しました。

同校では「観光プランコンテスト」「観光甲子園」同実行委員会主催へのチャレンジを予定。12月には昨年同様、町民の皆さんへのプレゼンも行う予定です。

て取り組んできた「てしかがスタイルのエコツーリズム方針策定」などの予算案、事務局が専門部会長会議や役員会を経て提案した各議案について審議し、その全てについて全会一致で承認しました。

終了後、引き続き行われた記念イベント「どあつと未来転換フォーラムV.012」では、NHK釧路放送局ディレクターの花岡利一さんが「私の感じたえこまち推進協」と題して講演。その後、町内で活躍されている4氏から活動の内容や当町の弱点などについての意見発表があり、本町の将来像や協議会のあり方などについて、参加者との意見交換が行われました。

## 村木厚子さん講演会

### えこまち推進協UD部会



200人の聴衆を前に講演を行う村木さん

てしかがえこまち推進協議会ユニバーサルデザイン部会（三木亨部会長）では6月3日、摩周観光文化センターで、厚生労働省元局長で内閣府政策統括官の村木厚子さんの講演会を開催しました。村木さんは同省の郵便不正事件で起訴され、大阪地検特捜部による証拠改ざんの発覚で無罪となつた体験を持つ「時の人」です。

「支える、支えられる」と題して行われた講演会には、約200人が参加。村木さんは「共生社会は『全ての国民が性別や障害の有無によって分け隔てなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共に支え合って生きる社会』と考えている」と述べました。ほかに、高齢者の社会的孤立化をはじめとする福祉関連の話や、自身が事件に巻き込まれ、拘留所に勾留された厚労省の郵便不正事件、関係の裁判などについても詳しく説明し、支え、支えられる共生社会を皆さんと一緒に築いていきたいと思っていると訴えました。

## 循環型社会の構築

※下線部分については、下の「用語の説明」参照。

施策	施策メニュー	協働方針	
自然資源の有効活用	新エネルギーの活用	「弟子屈町地域エネルギービジョン」を推進し、 <u>雪氷冷熱エネルギー</u> や太陽光発電システムなど、多様な新エネルギー活用の実現を図ります。	
	温泉・地熱の活用	家畜ふん尿のメタンガス化によるバイオマスプラントの実現化を目指します。	
	水資源の活用	豊富な地域資源である温泉・地熱を利用したエネルギー設備の導入制度を検討し、多様な利活用の実現を図ります。	
	ハウス栽培など、温泉・地熱の産業利用について支援を図ります。		
	町内の水資源の把握を行い、保全や利活用に向けた取り組みを進めます。		
	良質な水道水など、豊富な地域資源である水を活用した新事業の確立について検討します。		

施策	施策メニュー	協働方針	
環境負荷の軽減	3Rの推進と適正な廃棄物処理	町民や事業者へのごみ減量化に向けた意識の向上を図り、ごみの発生抑制に努めます。	
		リサイクル資源の適切な回収や分別の徹底について、周知・啓発活動を推進します。	
		不燃ごみについて、関係自治体との広域処理化を検討します。	
	不法投棄対策として「自然の番人宣言」事業所のさらなる拡大をはじめ、各種普及啓発を推進します。		
	熱源としての再利用に活用するため、農協と連携し、農業用廃プラスチックの適正処理を推進します。		
省エネルギーの推進	省エネルギー活動の先導的役割として、公共施設(建物、街路灯など)の省エネ改修や、公用車のエコカーへの更新を積極的に推進します。		
	一般家庭や民間事業所に対し、省エネルギーの普及啓発を推進するとともに、省エネルギー設備の導入支援制度の構築を図ります。		

### 用語の説明

- 雪氷冷熱エネルギー／天然の雪や氷を断熱設備のある貯雪氷庫に貯蔵して冷蔵・冷房を行ったり、寒冷な外気を取り入れて氷を作り、その冷熱をエネルギー利用したりすること。
- バイオマス(エネルギー)／家畜ふん尿など生物由来の再生可能な有機性資源。これを燃料などに活用したエネルギーがバイオマスエネルギー。
- バイオマスプラント／各種バイオマスエネルギーを生成する工場。
- 3R／Reduce(リデュース：減らす)・Reuse(リユース：繰り返し使う)・

Recycle(リサイクル：再資源化)の頭文字を取ったもので、廃棄物を削減し、循環型社会を構築していくためのキーワードとして広く導入されている言葉。

●自然の番人宣言／管内の市町村が一丸となって不法投棄などへの対処や、子どもたちへの環境教育に取り組む運動を「自然の番人」運動といい、市町村や学校、事業所などが運動に取り組むことを宣言すること。釧路管内8市町村は、平成18年3月に運動実施の調印を行った。

問い合わせ先／役場企画財政課企画係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)



少年の主張弟子屈大会

小学生の部

最優秀賞	「『命』の大切さ」	弟子屈小6年	芝田 遥夏
優秀賞	「一生懸命ということ」	美留和小6年	阿部 実央子
優良賞	「私の将来の夢」	奥春別小6年	深井 杏香
奨励賞	「心を育てるゴミ拾い」	和琴小5年	東出 あきほ
奨励賞	「すてきな友達」	川湯小6年	海老名 沙霧
奨励賞	「将来の夢に向けて」	弟子屈小6年	森島 望
奨励賞	「原点は酪農」	昭栄小6年	高橋 吏玖

出場者の皆さんと審査結果(敬称略)

中学生の部

最優秀賞	「望み+努力=未来」	川湯中2年	濱岡 日菜
優秀賞	「感謝の気持ち」	弟子屈中3年	田中 智也
優良賞	「『誰か』とともに」	弟子屈中3年	山本 竹人
奨励賞	「野球に懸ける思い」	弟子屈中1年	有岡 大
奨励賞	「バドミントンで学んだこと」	川湯中3年	後藤 優哉
奨励賞	「一瞬の風になれ」	弟子屈中2年	西田 千種
奨励賞	「使われなかった母の日のプレゼント」	弟子屈中1年	山家 麻由美
奨励賞	「川湯の自然」	川湯中3年	村上 龍輝
奨励賞	「土地の有効活用とポイ捨て問題」	弟子屈中2年	橋本 要
奨励賞	「川湯に来てから」	川湯中3年	石川 あやめ

# 「少年の主張」弟子屈大会

平成24年度第32回「少年の主張」弟子屈大会が5月27日に弟子屈町公民館で開催され

町内各小中学校の児童生徒の代表が、目で見て感じたことや体験して思ったことなどを、会場に訪れた多くの方々語りかけました。最優秀賞には小学生の部で芝田 遥夏さん(弟子屈小学校6年)、中学生の部で濱岡 日菜さん(川湯中学校2年)が、それぞれ選ばれました。

中学生の部最優秀賞の濱岡さんは7月26日に釧路市生涯学習センターで開催される「少年の主張釧路総合振興局地区大会」に出場します。

## 小学生の部 最優秀賞



「命」の大切さ  
弟子屈小学校6年  
芝田 遥夏さん

「はるかには、いただきます、ごちそうさまでした、という意味を知っているか。」  
「いって来た。私は、なんとなくわかっていたので、  
「うん。知っているよ。」  
と答えた。  
「どういう意味だ。」  
と父は私に問いかけてきた。私は「えーっと、動物や植物の命をいただくってことですよ。」  
というふうに答えた。私は、自分でいっておきながら気がついた。  
「一食でどれぐらいの命をいただいているんだろう。」  
そう思っと思わずつぶやいた。それを聞いた父は、  
「そうだ。人のために、動物や植物にたくさんの命をもらっている。それをいつも忘れずに「ご飯を食べなさい。」  
私はそれを聞いて  
「はい」  
と答えた。父は、私にとても大切なことを、教えてくれていた。そう思った。それから私は、「いただきます。」と「ごちそうさまでした。」  
「ご飯を食べる前と食べた後、必ず言い、心をこめて言うようにしている。」  
そして小学五年の時、母からまた、「命」に関わる話を聞いた。それは、弟がなにげにだした言葉から始まる。  
「どうして戦争はおこるの。」  
弟は母に聞いた。母は、どうして戦争がおこるのかを説明した。気が付くと私も母の話を聞いていた。しばらく話をした

あと  
「でも、人には考えがあるからね。戦争をした人達のことをいやがる人もいるんだよ。」  
母が言った。  
「えっ国のために戦ってくれたのに、その人達をいやがるの。」  
私はおどろいた。母は、  
「そう思う人もいるんだけど、お母さんはそうは思わないな。」  
「うん。はるかもそう思う。」  
とっさに言葉を返した。  
「だから、大人になったら、戦争で亡くなった人達のおはかに行ってきた。きつと天国にいる戦争で戦った人も戦ってよかったって思うよ。」  
「うん。分かった。絶対に行く。」  
そう言った。  
それから私は、今の時代と昔の時代を比べると人はなんのために生きていたのか、わからなくなった。昔の人は国のために生きていた。しかし、今の人はそれが無いと思う。だから私は、これまでの経験を通して、人のため、生き物のために、だれかの役に立つように、この一っだけしかない「命」を支えたり、助けたりしたい。そして自分自身も、この世に一つしかない「命」を大切にしていきたい。  
私が「命」のことについて考えたわけを、伝えることができただろうか。こうしている間にもたくさんの「命」が失われ、たくさんの「命」をいただいているのかもしれない。

## 中学生の部 最優秀賞



プラス イコール  
望み+努力=未来  
川湯中学校2年  
濱岡 日菜さん

私の家では、牛を飼育している。その中のいつも一頭だけ、体の弱い牛が今新しい「命」をかかえながら生きています。私は、学校から帰ってきてときどき、牛舎へと行く。仔牛にミルクをやるためだ。私が、仔牛にミルクをやるうとしたとき、弱い牛から仔牛の足が出てきてしまっていた。このままの中途半端な状態だと、仔牛が息をできなくなり、窒息死してしまう。私は母を呼んだ。まず獣医を呼んで引っぱってもらうことにした。一時間後、無事に仔牛は生まれた。しかし、母牛がたてず二日後死んでしまった。私はこのとき初めて「命」の大切さに気づいた。小学二年生のときだった。私はその母牛のことが今でも忘れられない。それからしばらくして、二つの「命」のことについて体験した。  
小学四年生のころ、ふだんのように「いただきます。」  
と、いってご飯を食べていると私の父が牛舎から帰ってきて

「僕らの夢は、一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学校や高校で全国大会に出て活躍をしなければなりません。活躍するには練習が必要で、最近CMで流れているイチロー選手の手言葉。彼はドリッグで十年連続二百本安打という素晴らしい記録を作りました。小学校の卒業の時、すでに未来を想像し、想像した未来の自分を超える選手になったイチロー選手。イチロー選手がここまで素晴らしい選手になれたのは、彼自身が「絶対実現する」と強く望んだからだと私は思います。彼は高校時代、寮生活を送っていました。練習が終了した後の自由時間に、他のチームメイトはもちろん自由に過ごしているのに、彼は自主練習をしていました。きつい練習が終わった後、のんびりしたい気持ちはだれにもあると思います。が、イチロー選手はその欲望に負けなかった。私はそのことをすごいと思います。尊敬もします。私は水泳をしています。習い始めたば

かりのころは、自分より力が上の人しかいませんでした。練習もものすごく厳しくて、きつかったり、辛かったりした覚えがあります。でも、上の人に追いつきたい一心でとにかく頑張りました。学校が終わったら練習の時間より早く行って準備したりしました。当時私には、同じ年の仲間がいませんでした。ちょっと悔しく思うときもありました。しばらくして、突然その子に勝てたことがありました。同じく苦しい練習をしていて、先を行く仲間を追い越せたこと、それは私にとっても嬉しなことでした。当時はそんなに感じませんでしたが、自分から進んで、練習をしたこと、これが勝つにつながったのだと思います。また、これからの自分を創るのには今の自分です。今、自分が何を望み、選択し、努力するかだと思えます。努力を積み重ねる人は望み通りの自分になることができるでしょう。望んだだけで何も努力しない人の未来は夢物語で終わってしまうでしょう。私はどうするでしょうか。  
私は、これからさらに良い自分を創り上げていきます。イチロー選手のように思い描いた自分になれるよう未来の自分を想像します。自分がどう過ごしていくか、によって私の未来は開かれるからです。



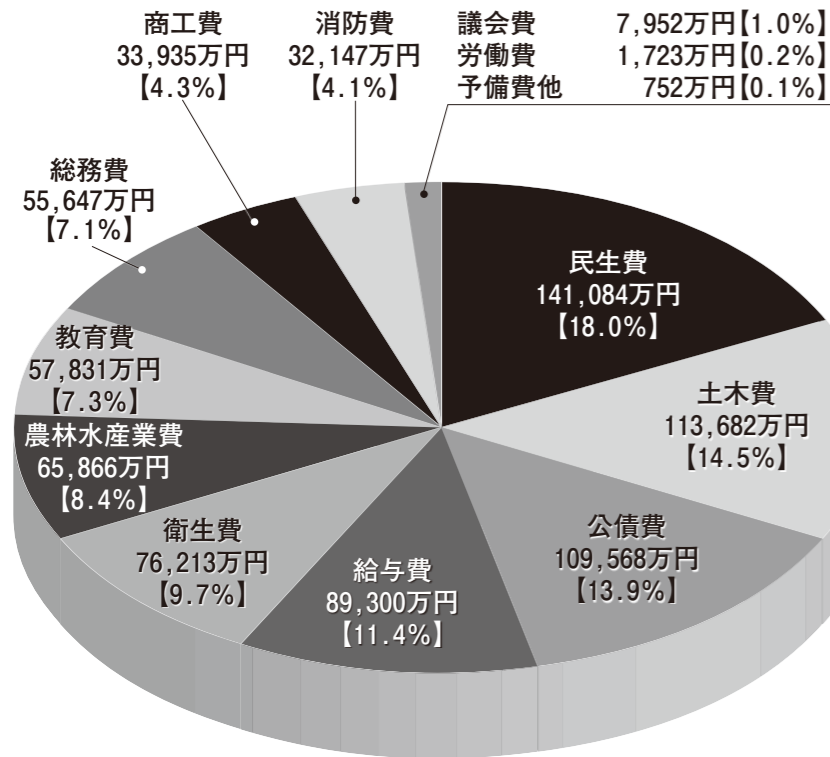
「練習をしたこと、これが勝つにつながったのだと思います。また、これからの自分を創るのには今の自分です。今、自分が何を望み、選択し、努力するかだと思えます。努力を積み重ねる人は望み通りの自分になることができるでしょう。望んだだけで何も努力しない人の未来は夢物語で終わってしまうでしょう。私はどうするでしょうか。  
私は、これからさらに良い自分を創り上げていきます。イチロー選手のように思い描いた自分になれるよう未来の自分を想像します。自分がどう過ごしていくか、によって私の未来は開かれるからです。」

# 平成23年度 弟子屈町財政の状況

●財政状況に関するお問い合わせは  
役場企画財政課財政係 ☎482-2913 (課直通)

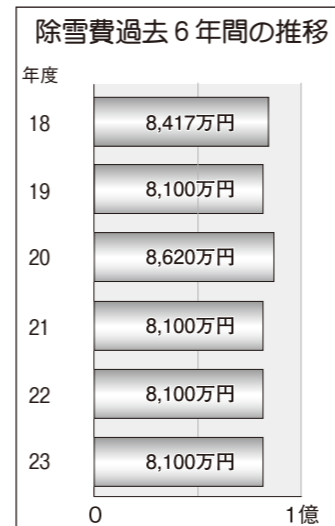
## 一般会計歳出

最終予算総額 78億5,700万円(平成22年度 77億6,289万円)



### 除雪費の推移

町内事業者のご協力により、23年度は22年度とほぼ同額で除雪業務を行うことができました。



### 補正予算 下半期(10月～3月)に補正した主な事務事業

摩周パイロット線改良事業	1億4,010万円
要援護者台帳システム導入業務	500万円
地域総合整備資金	1億2,700万円
共生型サポートセンター整備事業補助金、共生型住居整備事業補助金	600万円

平成23年度の最終的な予算が今年3月末に確定しました。

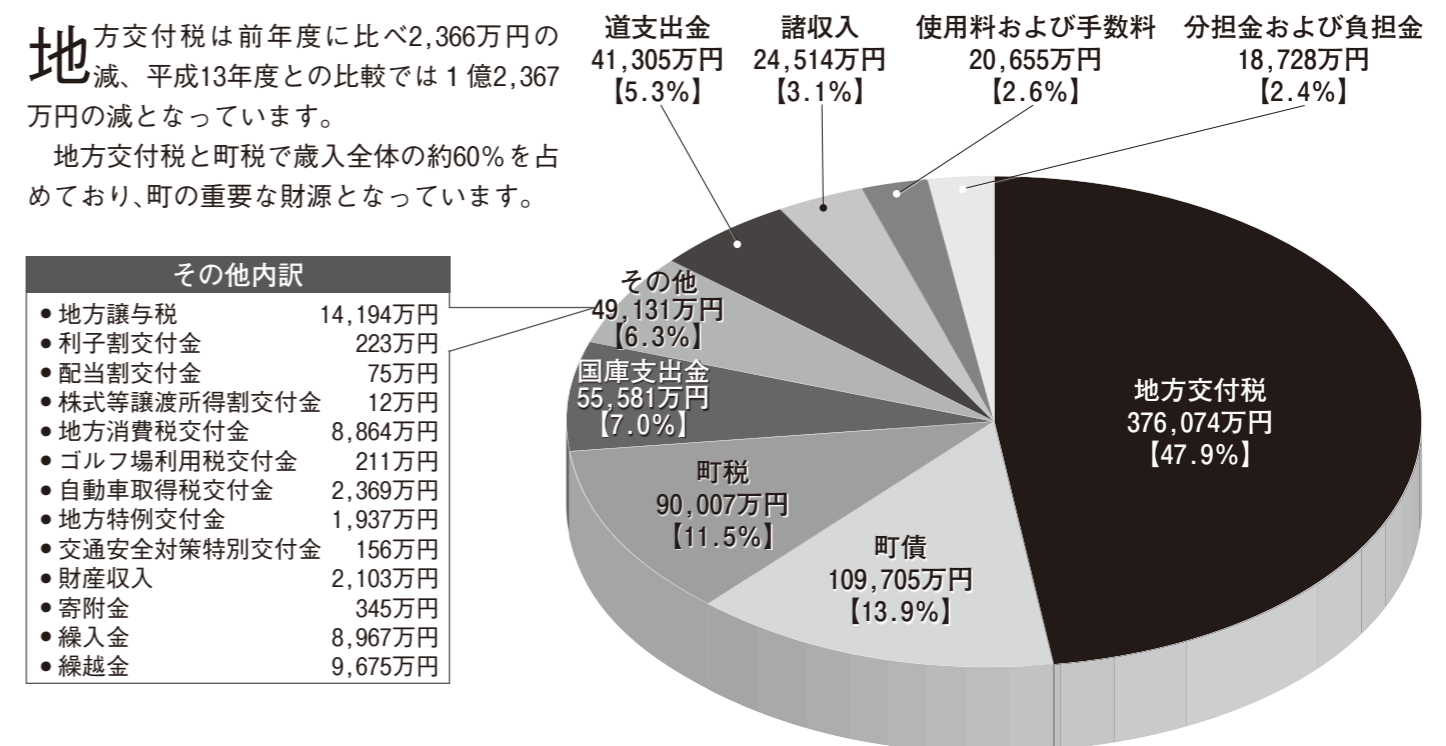
広報4月号には今年度の予算と主な仕事を掲載しましたが、今回は平成23年度最終予算額と、下半期に補正予算を計上した主な事務事業と町債の現状などについてもお知らせします。

## 一般会計歳入

最終予算総額 78億5,700万円(平成22年度 77億6,289万円)

地方交付税は前年度に比べ2,366万円の減、平成13年度との比較では1億2,367万円の減となっています。

地方交付税と町税で歳入全体の約60%を占めており、町の重要な財源となっています。



その他内訳	
●地方譲与税	14,194万円
●利子割交付金	223万円
●配当割交付金	75万円
●株式等譲渡所得割交付金	12万円
●地方消費税交付金	8,864万円
●ゴルフ場利用税交付金	211万円
●自動車取得税交付金	2,369万円
●地方特例交付金	1,937万円
●交通安全対策特別交付金	156万円
●財産収入	2,103万円
●寄附金	345万円
●繰入金	8,967万円
●繰越金	9,675万円

一般会計の歳出を町民一人当たり換算すると...

給与費(職員の給料・手当などに)	109,400円
土木費(道路・住宅の整備や除雪などに)	139,300円
公債費(借金の返済に)	134,300円
教育費(学校教育・生涯学習の推進などに)	70,900円
衛生費(医療の充実やごみ処理などに)	93,400円
民生費(福祉の充実などに)	172,900円
消防費(消防などに)	39,400円
総務費(全体的な計画や事務などに)	68,200円
農林水産業費(農林水産業の振興などに)	80,700円
商工費(商工業の振興などに)	41,600円
議会費(議会などに)	9,800円
諸支出金・労働費・予備費・災害復旧費(財産の取得・災害の復旧・その他)	3,000円

合計すると  
**962,900円**

※平成24年3月末現在の人口(8,160人)で計算。

分かりますか？

### 財政用語

- ▼一般会計/行政運営の基本的な経費を計上した会計
- ▼特別会計/特定の歳入歳出を処理するための会計
- ▼地方交付税/各市町村が等しく行うべき事務ができるように国から交付されるお金
- ▼地方譲与税/国が国税として徴収を代行しているもの(地方道路譲与税、自動車重量譲与税など)を市町村に一律で配分するお金
- ▼国庫・道支出金/特定の目的に対して国や道から交付されるお金
- ▼交付金/行政上の必要性により国から交付されるお金(地方消費税交付金、自動車取得税交付金など)
- ▼分担金・負担金/町が行う事業により、特定の利益を受ける人から徴収するお金(保育料、下水道受益者負担金など)
- ▼繰入金/他の会計や基金(特定の目的のために積み立てたお金)から繰り入れたお金
- ▼元金償還額/町債に対する返済額から利息分を差し引いた金額

**サマージャンボ**  
7月9日発売開始

GO/GO/サマー!  
GO/GO/500000000!

2000万×450本  
5億円

サマージャンボ 2000万サマー

7月9日(月)発売

▶発売期間/7月9日(月)～7月27日(金)  
▶抽選日/8月7日(火)

□問い合わせ先/役場企画財政課財政係  
☎482-2913(課直通)まで。

※宝くじの収益金は明るく住みよいまちづくりに使われます。

# 子育て応援医療費還元事業が始まります

町では、子育て中のご家庭を応援する新たな事業として「子育て応援医療費還元事業」を7月2日からスタートします。

この事業は、小学生のお子さんが病気やけがで通院した際に負担した医療費の一部を、町内での買い物などに利用できる商品券として還元することで、子育て中のご家庭の医療費負担の軽減と町内消費の活性化を図ることを目的にしています。

概要は次のとおりです。

## ▶対象者

弟子屈町に住居登録し、小学生のお子さんを持つ保護者の方が対象です。

※ただし、重度心身障害者医療助成やひとり親家庭等医療助成など、他の医療費助成制度を受けられる方は対象になりません。

## ▶対象になる医療費

平成24年4月1日以降に、小学生のお子さんが通院(歯科を含む)した際、医療保険の自己負担分として病院や薬局に支払った医療費が対象です。

※入院分の医療費は対象になりません。

## ▶助成の内容

通院にかかった医療費のうち、自己負担分の2/3に相当する額を1円=1ポイントとして換算します。500ポイントごとに町内の取扱店で使用できる商品券と交換できます。

例えば、通院にかかった総医療費が10,000円の場合、病院で支払う自己負担分は3割の3,000円です。この自己負担分の2/3である2,000円がポイント換算され、商品券(500円券4枚)と交換することができます。

## ▶手続きの方法

①診療日、受診者氏名、保険内医療費の金額が記され、医療機関の領収印の押された領収書原本(レシート不可)と保護者の印鑑を、保健福祉課の窓口へお持ちください。ポイントカード「フレカ」を作成し、ポイントを付与します。

②「フレカ」を作成した後は、お子さんの通院で負担した医療費がある場合に、領収書と「フレカ」を保健福祉課窓口へお持ちいただければ、ポイントを加算します。500ポイント以上貯まると、商品券への交換ができます。

③商品券は町内の取扱店で使用できます。商品券の有効期間は発行日から6カ月間です。お早めにご利用ください。取扱店一覧を商品券へ交換の際にお渡しします。

「フレカ」とは、子育てをみんなで応援する「フー！フー！」の気持ちを込めたカードです

## ▶取扱店を募集中

商品券取扱店を募集しています。

町内で営業している事業者の方で、登録をご希望の場合はご連絡ください。



問い合わせ先/役場保健福祉課医療保険係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 5 (課直通)

# 平成23年度 弟子屈町財政の状況

## 各特別会計・水道事業会計(企業)

### 最終予算内訳

(単位:万円)

区分	23年度			22年度		比較	
	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	最終予算額(A)	最終予算額(B)	(A-B)	増減率(%)
国民健康保険特別会計	115,137	439	7,157	122,733	119,196	3,537	3.0
介護保険特別会計	71,402	560	8	71,970	67,565	4,405	6.5
後期高齢者医療特別会計	8,698	0	402	9,100	8,590	510	5.9
温泉事業特別会計	5,633	0	598	6,231	6,489	△258	△4.0
下水道事業特別会計	40,962	△266	△337	40,359	52,876	△12,517	△23.7
計	241,832	733	7,828	250,393	254,716	△4,323	△1.7
水道事業会計(企業)	25,632	950	226	26,808	28,741	67	0.3

5つの特別会計の最終予算額は25億393万円で、前年度と比較すると額で4,323万円、率で1.7ポイントの減となりました。

これは、主に下水道事業における下水道整備が進んだことによる、事業の縮小に伴うものです。

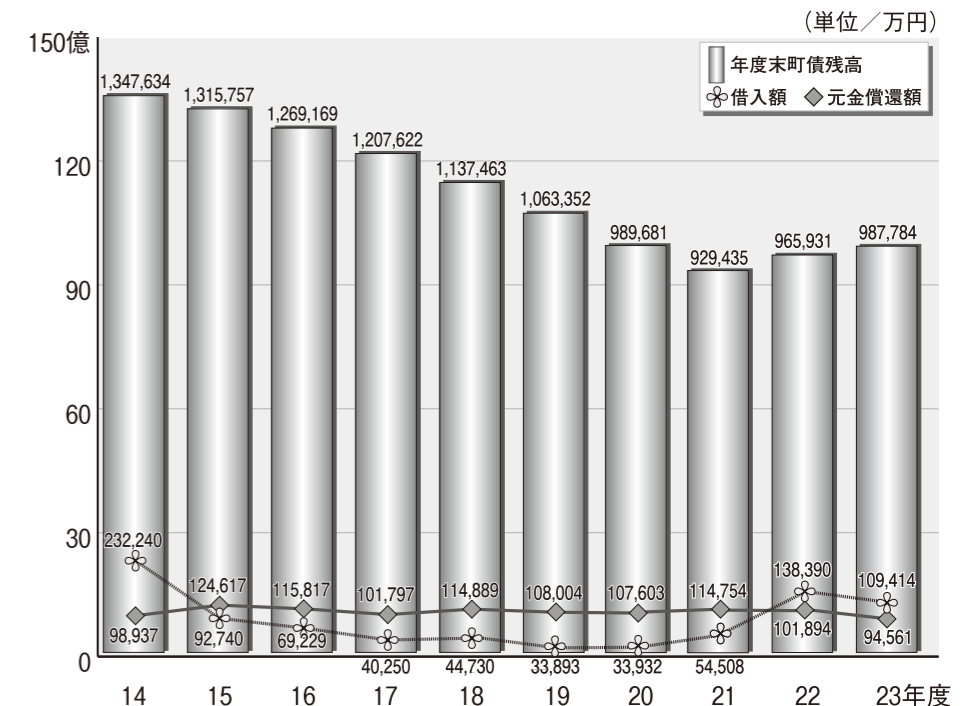
また、水道事業会計(企業)の最終予算総額は2億6,808万円で、前年度並みの額となりました。

## 町債の借入額と残高の推移

町債とは、国や郵政公社、金融機関などといった第三者から資金を借り入れるもので、長期にわたって償還(返済)しなければならない町の借金です。

町では、公共施設の建設事業を行う場合などに町債を借りて事業の推進を図っています。平成23年度の町債の借入額は10億9,414万円で、残高は98億7,784万円となっています。

なお、町債の残高全てが町の負担となるわけではなく、償還した元金と利息の約60%が、町の収入の大部分を占める地方交付税の中に含まれて戻ってくることとなります。



## 役場や町の公共施設で取り組むこと

▶期間 / 7月2日(月)～9月28日(金)

▶主な取り組み内容(これまでも一部実施してきましたが、さらに検討して実施します)

- 照明 / 昼休みの消灯・使っていない部屋やエリアのこまめな消灯・照明器具の間引き・屋外灯の細設定や減灯・電球のLED化の検討
- 空調 / 使用していないストーブのコンセントを抜く
- OA機器 / 昼休みや退庁時にパソコンのプラグを抜く・短時間使用しないノートパソコンは画面を閉じる・短時間使用しないデスクトップパソコンはモニターの電源を切る・長時間使用しないパソコンは電源を切るかスリープモードにする・コピー機を使用しないときは節電モードにするか電源を切る・プリンタやコピーは必要最低限に
- コンセント電力 / 自販機の消費電力(温度や照明の調整)を下げるように設置者に依頼・温水洗浄便座の電源を切る
- 啓発 / クールビズの実施(6月1日～)



▶節電目標と取り組みの検証

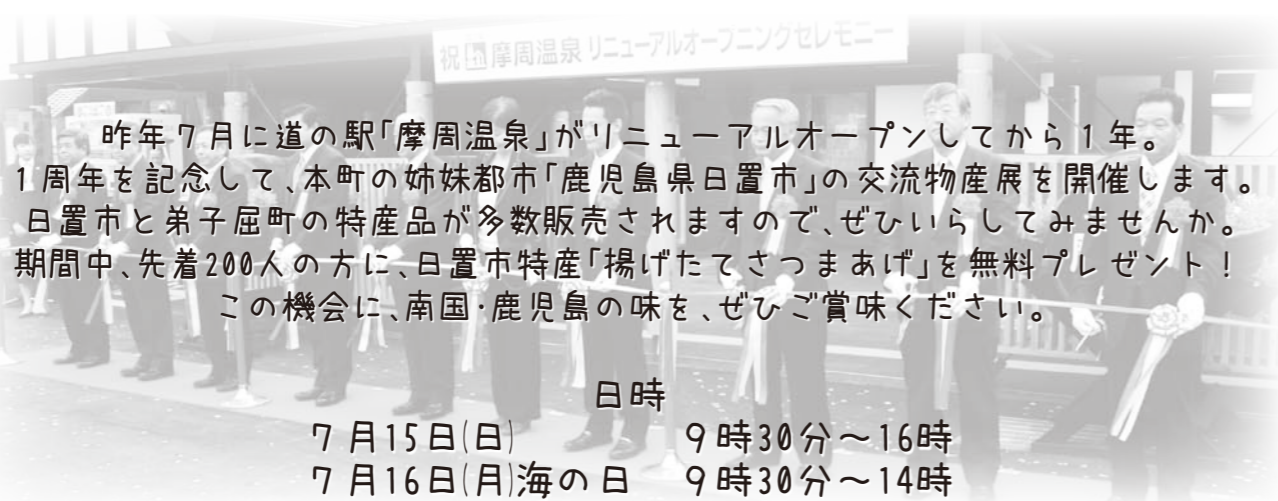
一昨年の電力使用量と比較して、各施設7%以上の節電を目標とします。7～9月の3カ月の合計使用量を一昨年同時期と比較し、どの程度削減したか検証します。

問い合わせ先 / 役場企画財政課環境室環境政策係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

## 7/15・16は道の駅においてよ!

道の駅「摩周温泉」11ニューアルオープン1周年記念  
鹿児島県日置市姉妹都市交流物産展

日置市や地元の特産品が大集合!



昨年7月に道の駅「摩周温泉」がリニューアルオープンしてから1年。1周年を記念して、本町の姉妹都市「鹿児島県日置市」の交流物産展を開催します。日置市と弟子屈町の特産品が多数販売されますので、ぜひいらしてみませんか。期間中、先着200人の方に、日置市特産「揚げたてさつまあげ」を無料プレゼント! この機会に、南国・鹿児島の味を、ぜひご賞味ください。

日時  
7月15日(日) 9時30分～16時  
7月16日(月)海の日 9時30分～14時

問い合わせ先 / 道の駅「摩周温泉」 ☎ 4 8 2 - 2 5 0 0

# の 節 電 夏

「この夏は節電にご協力を」  
最近、よく耳にしますよね。  
一昨年並みの猛暑になった場合  
電力が不足することが予想されるため  
電力不足の回避のため、国から節電の要請がされています。  
道内で求められているのは、一昨年比-7%。  
具体的には、どのような取り組みをしていけばいいのでしょうか。

※無理のない範囲で心がけていきましょう。特に、高齢者の方や小さなお子さん、障がいのある方など、健康に支障がないよう気をつけてください。熱中症や食品の傷みにも気をつけながら取り組みましょう。

## ご家庭で取り組めること

▶期間

- 7月23日(月)～9月7日(金)(お盆期間「8月13日(月)～15日(水)」を除く)の平日9時～20時
- 9月10日(月)～9月14日(金)の17時～20時

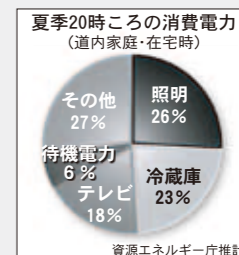
▶ポイント

道内では夏季、日中から夕方長い時間帯で電気使用のピークが続くのが特徴です。そのため、節電をお願いする時間帯も9時～20時となっています。中でも、18時～20時に最も電気が使われるため、特にこの時間帯での節電への取り組みがポイントとなります。電気の使用をこの時間帯からずらすだけでも効果があります。

▶節電メニュー

右のグラフは、道内家庭の夏の消費電力(20時ごろ)の内訳を表したものです。意外なことに、全体の1/4を照明が占めています。エアコンの使用が少ない道内では、照明の節電が大切だということが分かります。

ご家庭でできる節電メニューを紹介いたしますので、参考にしてみてくださいね。



- 照明**
- 一部を消す。
  - 使っていない部屋の照明を消す。

削減率 **7%!**  
※照明の3割程度を消灯した場合



- テレビ**
- 画面の明るさを下げる。
  - 必要な時以外は消す。

削減率 **2%!**  
※省エネモードに設定



- 冷蔵庫**
- 設定を「強」から「中」に下げる。
  - 扉を開ける時間をできるだけ減らす。
  - 食品を詰め込み過ぎないようにする。

削減率 **2%!**



- 温水洗浄便座**
- 温水のオフ機能、温水のタイマー節電機能を利用する。
  - 上記の機能がない場合、使わないときはコンセントからプラグを抜く。

削減率 **1%!**  
※どちらか1つの対策で



- 炊飯器**
- 早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。

削減率 **3%!**



- 待機電力**
- リモコンではなく、本体の主電源を切る。
  - 長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜く。

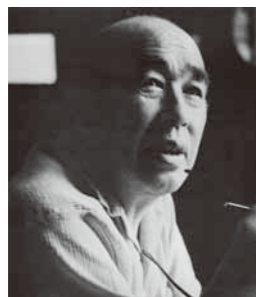
削減率 **3%!**



- エアコン**
- 設定温度を2℃上げて28度にする。
  - エアコンの代わりに扇風機を使う。

削減率 **10%!**  
**50%!**





更科源蔵(さらしなげんぞう)  
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動が続けた。  
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



表紙絵/更科源蔵

原野紀行

『原野』

『原野』は、1980(昭和55)年3月に発行されました。すでに出版されている『熊牛原野』と『旅の博物誌』に、新たに、ふるさと原野を思う2編を加えています。この2編の中に、姉の法事のため更科が久しぶりに熊牛原野を訪れた風景が書かれています。

南弟子屈の駅に降りた更科は、辺りの風景を見ながら線路伝いに歩きます。そしてある切り株のところで立ち止まります。その切り株は、幼いころ小さな動物や草花を友だちにして更科が毎日の遊び場にしてきた白樺の大木があったところでした。更科は「こうせうにはいられないそれぞれの生活があつて」のことであり「故郷を遠く離れて、都会の片隅に住っている一人の男が、かつてこの木にささげる一篇の詩を書いたことがあつた」となど、知ろうはずもなかったらうし、また知ったとしてもそんな感傷は、豚の餌ほどの値うちもなかったにちがいない」と思いながらも、北海道の原野開拓は密林を刈り倒し、火で焼き払うことから始まったことを考えます。

それは、変わりゆく風景に憂いを寄せながら、原野の片隅で忘れ

られた木1本でも、その土地に生まれ育った者たちにとって自分は何者なのかを証明するものなのでしょう。

この『原野』の巻末には、本編第86回で紹介した根室町の「文芸雑誌『測量船』(1931(昭和7)年当時)を編集した中澤茂が解説を書いています。

中澤茂は「その『少年』(筆者注:更科のこと)にとって『原野』とは何だったのだろう」と問います。そして、原野は「物を云いあう友達もない、絵本もない、街は遠い、その貧しさが彼の感受性に味方したのだ。そして、更科少年を更科源蔵にした不文口伝のコタンの老爺、老婆が紺色の入墨の口を動かし、爐辺(囲炉裏のそば)に彼を抱き、味方した」と言います。

更科にとって熊牛原野の原風景は、自身を証明するものであり、自分を温かく守り、味方してくれるものだったのです。

この年、札幌弟子屈会の仲間たちは、それぞれにふるさと弟子屈の原野を思いながら、更科の喜寿のお祝いをしてくれました。その数カ月後、更科は初めて心臓に不調を覚え、入院をしています。

野菜食べていますか？

お手軽野菜料理レシピ

肉と野菜のレンジ蒸し

【材料】(2人分)

- 豚ローススライス(脂無し) 4枚
- 酒 少々
- 塩・こしょう 少々
- モヤシ 1袋
- ニンジン 1/2本
- シメジ 1袋
- ニラ 1/2把
- 好みの調味料 適量

【作り方】

- ①豚肉は食べやすい大きさに切り、酒、塩、こしょうで下味をつけておく。
- ②ニンジンは千切りにし、シメジは石づきを取り粗くほぐす。ニラは食べやすい長さに切る
- ③皿にモヤシと②を合わせたものを盛り、その上に①を広げて乗せる。
- ④③にラップをかけて、電子レンジ(600w)で3~5分くらい加熱する。(火が通っていないようであれば、あと数分加熱してみましょう)
- ⑤ポン酢しょうゆなど、好みの調味料を掛けていただく。※色々な野菜で作ってもおいしく食べられます。

キュウリの炒め物

【材料】(2人分)

- キュウリ 1本
- 青ジソ 3枚
- ショウガ 少々
- ごま油 少々
- 塩 ひとつまみ
- いりごま 小さじ1/2
- ラー油 少々

【作り方】

- ①キュウリは斜めに薄く切ってから千切り、青ジソとショウガも千切りにする。
- ②フライパンにごま油とショウガを入れて火にかけ、香りが出てきたらキュウリを入れてさっと炒める。青ジソも加え、塩で味を整える。
- ③器に盛り、いりごまとラー油を振りかける。

コマツナとキノコのキッシュ

【材料】(直径20cmのタルト型)

- 冷凍パイシート 100g
- コマツナ 6~8株
- シメジ 1パック
- 生シイタケ 4枚
- バター 大さじ1
- しょうゆ 小さじ1
- 調整豆乳 1/2カップ(100cc)
- 卵 1個
- 塩・こしょう 適量

【作り方】

- ①パイシートは解凍し、型よりひとまわり大きく伸ばして型に敷き、冷凍庫に入れ冷やす。
- ②コマツナは3cmくらいに切る。シメジは石づきを取ってほぐし、シイタケは太めの千切りにする。
- ③バターを入れたフライパンで②を炒め、しんなりしたらしょうゆで味付けする。
- ④豆乳と卵を混ぜたものに③を入れ、塩・こしょうで味付けする。
- ⑤①に④を流し入れ、200℃のオーブンで20~25分焼く。

調理実習のお知らせ

- ▶内容/パン作り  
プリオッシュ(1次発酵のみのパン)  
チーズドーナツ
- ▶日時/7月24日(火) 10時~13時ころ  
※作業時間によって、終了時間が若干前後する場合があります。
- ▶場所/川湯ふるさと館
- ▶定員/12人
- ▶参加費/400円
- ▶持ち物/エプロン、三角巾
- ▶申し込み締め切り/7月17日(火)
- 申し込み・問い合わせ先/役場保健福祉課健康推進係(栄養士) ☎482-2935(課直通)、または役場農林課農政係 ☎482-2936(課直通)まで。
- ※調理実習やレシピのことでご意見などありましたら、栄養士までご連絡ください。

この道一筋に精進

船坂計明さんに瑞宝単光章



勲記を受け取る船坂さん(中央)

第18回危険業務従事者叙勲において、元釧路北部消防事務組合消防司令長の船坂計明さん(65歳・美里2)が瑞宝単光章を受章しました。伝達式は6月22日、役場で行われ、徳永町長から船坂さんに勲記と勲章が手渡されました。

船坂さんは1969年から4年間、弟子屈常備消防団員として活躍。1973年4月に釧路北部消防事務組合が設立されてからは、30年以上にわたり消防職員として、人命救助や大火の未然防止に尽力してきました。ほかにも、消防庁舎の建設や高規格救急車の導入など、消防力の向上と同組合の発展に貢献したとして、今回の受章となりました。

## 弟高生が全道大会出場



全道大会出場を決めた弟子屈高校の選手たち

弟子屈高等学校 陸上部、テニス部、水泳競技の14人が、北海道高等学校選手権大会出場を決めました。大会は、陸上は6月18日～22日に帯広市、テニスが6月13日～15日に釧路市で行われました。水泳競技は7月6日～8日に函館市で行われます。各種目とも上位進出を目指して奮闘しました。出場者は次のとおりです。

- ▼陸上部／小山内隼人、金川竜佑(以上2年)、堀内美里、宮崎麻衣(以上3年)
- ▼テニス部／佐々木亮、佐藤あゆみ、金澤映実(以上3年)、藤江葉月、豊島ありす、坂東糸(以上2年)、阪口あいか、松橋わか(以上1年)
- ▼水泳競技／高田穂乃香、濱岡春菜(以上2年)

南部忠平記念陸上競技大会に7人が出場  
弟子屈陸上少年団と弟子屈RC少年団の選手が、7月8日から札幌市で行われる南部忠平記念陸上競技大会に出場されました。



大会に出場する選手たち

同大会は、1932年のロサンゼルスオリンピック陸上競技三段跳びで金メダルを獲得し、

野田さんが全日本シニアボウリング大会に出場

第44回北海道シニア選手権大会(ボウリング)が、5月12・13の両日、紋別市で行われ、野田彰さん(69歳、

鈴蘭1)がハイシニアの部で優勝。7月6日～8日に大阪市で行われる第45回全日本シニアボウリング選手権大会に、北海道代表として選出されました。



優勝した野田さん(中央)

## 生涯学習だより

発行／弟子屈町生涯学習推進本部  
事務局／教育委員会社会教育課 ☎482-2948(課直通)



潮干狩りを楽しむ参加者の皆さん

「公民館講座「潮干狩り」」  
公民館講座「潮干狩り」が6月3日、別海町尾岱沼で開催され、21人が参加しました。  
バケツいっぱいになった方、なかなか採れない方などさまざまでしたが、天候にも恵まれ、潮風と自然を感じながら、アサリ掘りを体験することができました。

### 「生きがい講座」で学んでいます

60歳以上の方を対象とした「生きがい講座」が今年度も4月に開講し、毎月一度、弟子屈・川湯の各学級で講座が開催されています。

6月13日の弟子屈学級は「健康について学ぼう!」体力測定を行った後、測定結果を見ながら、これからの過ごし方について町の保健師による講話と指導が行われました。楽しい雰囲気の中、学級生の皆さんも熱心に聴き入っていました。

川湯学級は「あの町この町を訪ねて」という宿泊研修。6月21日～22日の1泊2日で、根室方面へ施設見学へ行きました。北方四島交流センターや、根室市歴史と自然の資料館などを見学しました。



弟子屈学級の様子

### 一度足を運んでみませんか 公民館ロビー展

「松浦武四郎展」が5月16日から6月8日まで、「泉女性部趣味の会の3点の作品展」が6月12日から25日まで、公民館ロビーで開催されました。

松浦武四郎展では、道東探査で弟子屈を訪れた記述のある「久摺日誌」や地図、パネルなどを展示。「探検家武四郎」の映像もあり、訪れた方も熱心に観覧していました。泉女性部趣味の会は、週に1回集まり手芸などを行っています。作品展では、靴下や手袋、コースター、カバンなど、133作品を展示。訪れた方々を楽しませました。

### 「歴史資料」の参加者募集

- ▼日時／7月28日(土) 7時30分公民館前出発(雨天中止)
- ▼講師／摩周山岳協会
- ▼対象・定員／町民の方:30人 ※小学生の方は保護者同伴。
- ▼参加料／無料
- ▼持ち物／リュックサック・帽子・タオル・お弁当(飲み物(水・お茶)・携帯食・数物・カッパ(必ず用意)
- ▼申込締切日／7月20日(金)
- ▼問い合わせ先／弟子屈町公民館 ☎482-2340まで。

### 「てしかがの蔵」日曜日に開放

「郷土資料収蔵庫 てしかがの蔵事務所」を、7月と8月の毎週日曜日(7月1日を除く)に開放します。開放日には、弟子屈町郷土研究会の皆さんが案内を行います。受け付けは、てしかがの蔵の正面入り口(郵便局側)にあります。来場の際には、受け付けでお名前をご記入ください。

- ▼案内日時／7月8日～8月26日の毎週日曜日、10時～16時。
- ▼問い合わせ先／町教育委員会社会教育課 ☎482-2948(課直通)まで。

### 屈斜路コタンの現在展

屈斜路コタンアイヌ民俗資料館で「屈斜路コタンの現在展」を開催しています。屈斜路古丹で生活を営んでいる方が制作した、アイヌ文様刺しゅうのポーチやコースター、衣服などを展示しています。

- ▼入館料
- 個人 大人(高校生以上)400円 小人 270円
- 団体(20人以上) 大人 330円 小人 190円
- ▼開館／6月～10月開館期間中無休
- ▼問い合わせ先／屈斜路コタンアイヌ民俗資料館 ☎484-2128まで。

### 第12回摩周ウォークラリーゲーム参加者募集!

紙は社会教育課体育振興係(公民館)にあります。

- ▼内容／3人1組のチームでゲームやスポーツ種目を行い、隠しタイムで各種目の合計点数で順位を競う競技です。
- ▼日時／7月21日(土) 9時30分
- ▼場所／摩周観光文化センター1周辺
- ▼対象／町民の方
- ※小学生未満の方は保護者同伴。
- ▼参加料／無料
- ▼賞／上位3チームと指定種目での優秀賞を授与。
- ▼申し込み方法／3人1組のチームまたは個人で申し込みください。申込用紙は社会教育課体育振興係(公民館)にあります。
- ▼申込締切日／7月13日(金)
- ▼申し込み・問い合わせ先／町教育委員会社会教育課体育振興係 ☎482-2948(課直通)まで。

### 第24回弟子屈町民水泳競技大会兼記録会の参加者募集

- ▼日時／8月12日(日) 9時
- ▼場所／川湯屋内温水プール
- ▼対象／どなたでも参加できます
- ▼種目
- 幼児／25メートルキック、25メートル自由形
- 小学生以上／25メートルキック、4

### むっしゅあ

摩周焼チャリティーバザー  
摩周焼窯元(森雅子代表)主催の第2回摩周焼チャリティーバザーが5月12、13の両日、公民館で行われました。多くの方が会場に詰めかけ、お気に入りの皿やカップなど買い求めていただきました。収益金は、東日本大震災の被災地への義援金として、町を通じて寄付されました。



大盛況のチャリティーバザー

### ありがとうコンサート

昨年、弟子屈町文化奨励賞を受賞した川上シンフォニアウインドアンサンブルによる「創立32年、受賞の喜びと感謝の気持ち」を込めて「ありがとうコンサート」が6月3日、公民館で開催されました。スパイ大作戦や情熱大陸、映画音楽のパイレーツ・オブ・カリビアンなどの曲が披露されたほか、アンコールでは「川の流れるように」が演奏され、観客から大きな拍手が贈られました。



感謝の気持ちを込めて演奏

### プロ野球公式戦を観ませんか

北海道日本ハムファイターズ公式戦のプロ野球観戦事業を行います。対戦／北海道日本ハムファイターズvs福岡ソフトバンクホークス  
▼期日／8月7日(火)  
▼会場／帯広の森野球場(帯広市)  
▼入場料(外野自由席)  
●中学生以下 600円  
●高校生以上 1千500円  
▼定員／35人  
▼申込締切日／7月13日(金)  
※送迎バス出発時間／公民館前7時・本町到着時間／21時ころ  
※チケットのみの購入・送迎バスのみの利用もできます。  
※参加者が15人に満たない場合は事業を中止します。  
※悪天候のためゲームが中止の場合は、教育委員会から連絡します。  
▼申し込み・問い合わせ先／町教育委員会社会教育課体育振興係 ☎482-2948(課直通)まで。



地域をきれいにしようと力を合わせて

## ごみ拾いで心地よい汗

### 摩周湖クリーンウォーク2012



道路わきのごみも見逃さず(上・下とも)

また今年も、弟子屈町建設業協会がトイレカーを2台提供したほか、弟子屈町未来こども協議会の会員がお茶のサービスを行いました。

徳永町長は「たくさんの皆さんに参加いただき、また、たくさんの事業所に協賛いただいたことに、誠に感謝している」と話していました。

然の番人宣言事業、シーニックバイウエイ弟子屈エリアの活性化事業の一環として行われたもので、今年で7回目です。今回は一般町民の方や小・中学生、園児のほか、事業所などから約600人が参加。社会貢献活動として7年連続参加している弟子屈町建設業協会(辻谷智之会長)からは、63人が参加しました。参加者は16のグループに分かれ、摩周湖や川湯温泉、仁伏などの8コース全40キロを歩き、空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻などのごみを約400キロ集めました。

町主催の「摩周湖クリーンウォーク2012」が6月2日、町内各地の国道や道道沿いで行われました。

摩周湖周辺の環境保全対策や自然の番人宣言事業、シーニックバイウエイ弟子屈エリアの活性化事業の一環として行われたもので、今年で7回目です。今回は一般町民の方や小・中学生、園児のほか、事業所などから約600人が参加。社会貢献活動として7年連続参加している弟子屈町建設業協会(辻谷智之会長)からは、63人が参加しました。参加者は16のグループに分かれ、摩周湖や川湯温泉、仁伏などの8コース全40キロを歩き、空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻などのごみを約400キロ集めました。



東星波部建設のグラウンド整備

## 地域の役に立ちたい

### 4社による社会貢献活動



今道東建設工業による道路の清掃

6月1日には、(株)今道東建設工業(今誠代表取締役)の皆さんが、900草原入り口3区間と町道釧路川右岸線12区間の清掃を行いました。両区間で47人が参加。道路の清掃とごみ拾いを丁寧に行っていました。

5月26日には、東星波部建設(山村五十三代表取締役)の皆さんが、奥春別小学校と川湯中学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちの喜ぶ顔が見たいとして行ったもので、昨年に引き続きの作業です。除草や転圧など、とても丁寧に作業を行っていました。

5月24日には、今井林業(株)(伊藤喜美雄代表取締役)の皆さんが、川湯農村公園内の伐採を行いました。同公園内の樹木が、隣接する住宅に倒れる危険性があると懸念されていたところ、同社が伐採を申し出たものです。倒木の恐れのあるイタヤカエドとハルニレ、合わせて16本の処理を行いました。



今井林業の伐採

(株)佐藤建設工業(佐藤洋司代表取締役)の皆さんが5月19日、摩周観光文化センターのソフトボール場と運動広場の整備を行いました。例年この時期に行っているもので、今年で3回目。15人が参加し、タイヤショベルで表土をはがし、タイヤローラーで転圧しました。

## 町の話



## 町の話

## 町の話



## 町の話



審査に力が入る

## 自慢の牛馬を競い合う

### 第60回弟子屈町家畜共進会



かわいいリードで会場の笑顔を誘う

町とJA摩周湖共催の第60回弟子屈町家畜共進会が6月8日、弟子屈町家畜共進会場で行われ、乳牛の部に7戸の酪農家から34頭が、馬の部には4戸の馬産農家から6頭が出陳されました。

開会式で家畜共進会会長の徳永町長が「酪農や馬産は開拓の歴史とともにあり、町の農業を支えてきた。日頃の尽力に感謝する」とあいさつ。乳牛の部では、子どもたちのかわいいリードも大いに会場を盛り上げました。馬の部では、大きな馬体を自在に操る馬産農家の力強い掛け声が響く中、和やかに競技が進行しました。

主な審査結果は、次のとおりです。

■乳牛の部  
 マグランドチャンピオン/メドープリッジ ロースシャトル(高橋和憲さん所有) マリザブチャンピオン/ブライトランド ルーレジェンド(坪井泰憲さん所有) マジュニアグランドチャンピオン/ハッピーランド チャンピオン エレナ(吉田雄貴さん所有) マジュニア リザブチャンピオン/グリークエスト ギブプロアストライ(坪井秀明さん所有)

■馬の部  
 ▽最優秀賞/シンマレイ(端正行さん所有)



毛並みや体格などを審査

## 緑あふれる町を目指し

### 弟子屈町植樹祭 グリーン・タッチ



町内の子どもたちが一堂に会し植樹(グリーン・タッチ/2枚とも)

6月4日には、町内の子どもたちによる植樹活動「グリーン・タッチ」が、弟子屈中央広場(弟子屈中学校横)で行われました。ふるさとの自然環境を守り、育てていく意識を深めてほしいと行われたもので、今年で3回目。幼稚園 保育園 児童・中学校・高校生徒、教職員など約910人が一緒に、エゾヤマザクラ145本を植樹しました。

弟子屈町植樹祭「森林は自然の貯金箱」が5月31日、元仁多小学校分収林で行われました。緑のふるさとづくりを目的に、町と弟子屈町緑化推進委員会(会長・徳永町長)が主催して毎年行っています。今年には約100人が参加。カラマツ1千200本と、北海道電力(株)弟子屈営業所(池田勝秀所長)から送られたドロノキ、エゾヤマザクラ計100本を植樹しました。また、緑化推進委員会に対して20万円を寄付した今井林業(株)(伊藤喜美雄代表取締役)に感謝状が贈呈されました。



心をこめて丁寧に苗木を植える(植樹祭)

**6月10日**  
登山者のマナー向上を願って  
パークボランティアが藻琴山登山道整備



登山道を整備するボランティアの皆さん

川湯エコミュージアムセンターを拠点として自然保護活動などを行っている、摩周・屈斜路パークボランティアの皆さんが6月10日、藻琴山登山道の整備を行いました。山頂下の広場は土砂崩れの起きやすいところがあり、屏風岩周辺は貴重な高山植物が生育していることなどから、むやみに足を踏み入れないように登山者に注意を促すために行ったものです。

雨や風が強まり、視界が悪くなる中、ボランティアの皆さんは「マナーを守って楽しく登ってほしい」と願いながら、ゆるんだ杭を打ち直したり、運び上げたロープを張る作業を行いました。

**6月9日**  
役場前の花壇をきれいに  
フラワーマスター協会の皆さんが植栽行う



丁寧に植栽を行う委員の皆さん

摩周フラワーマスター協会(渡辺昇会長)の皆さんが6月9日、役場庁舎前と役場駐車場入り口の花壇に植栽を行いました。

皆さんに花を楽しんでほしいと毎年行っているもので、今年で18回目。13人が参加し、サルビアやマリーゴールド、ペチュニアなど約500株を、2つの花壇に手際よく植えました。訪れる皆さんの目を引いています。

**5月25日～28日**  
広々とした牧場で草をはむ  
900草原に牛が入牧

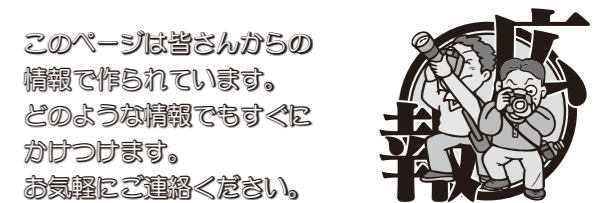


900草原で秋まで過ごす若牛

5月25日から28日の日程で、酪農家で育てられた若牛が家畜車で運ばれ、広大な町営牧場900草原へ放されました。

今年は、1,463頭もの牛が集まりました。これから栄養豊かな牧草を食べて、広々とした牧場内を走り回り、たくましく成長して、秋には畜主のもとへ戻ります。

**カメラスケッチ**  
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけつけます。お気軽にご連絡ください。

企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)

**6月20日**  
観光客をきれいな花で迎えたい  
摩周駅前広場の花壇を整備



小雨の降る中、協力して植栽

摩周駅前広場花壇整備事業実行委員会(委員長・木暮敏男摩周湖観光協会会長)の皆さんが6月20日、JR摩周駅前広場の花壇整備を行いました。

同実行委員会は、摩周湖観光協会や弟子屈町商工会、弟子屈建設業協会など、13団体が構成する団体です。平成12年度から、本町を訪れる観光客のおもてなしと、美しい景観づくりの一環として花壇整備を行っています。今回は32人が参加し、サルビアやマリーゴールド、ペチュニア900株を植えたほか、花壇や植樹帯の草取りを行いました。今後も交代で草取りや水やりを行っています。

**6月12日**  
緑多いまちづくりに役立ててください  
弟子屈高校ボランティア部が緑の募金



募金を手渡す部員の皆さん

緑化推進の一環として行われた緑の募金運動で、町内の皆さんからご協力いただいた募金が、弟子屈町緑化推進委員会(会長・徳永町長)に寄付されました。

緑の募金運動は5月11日から6月29日にかけて行われ、自治会や企業、学校、個人の皆さんなどから募金をいただきました。6月12日には、弟子屈高校のボランティア部「摩周SVC」の皆さんが役場を訪れ、生徒の皆さんから協力していただいた募金を徳永町長に手渡しました。募金は、町内の緑化推進に役立てられます。

**6月7日**  
新たな町の特産品に  
ワイン用のブドウを本格栽培



順調な生育を願って丁寧に植えこみ

町では6月7日、摩周3丁目の町民農園に、ワイン醸造用ブドウの苗木200本を植えました。

町では、観光振興と地産地消の推進を目指して、2009年からワイン用ブドウの試験栽培を開始。ワインの産地として知られる十勝管内池田町の指導を仰ぎながら、生育状況や適応性を調べてきましたが、耐寒性に優れた「山幸」という品種を取り入れ、本格栽培することにしました。町民農園のほか、美留和・屈斜路・川湯の3地区でも180本を植え、ワイン1樽(500リットル)分の収穫を目指します。

**6月1日**  
育てるのが楽しみ  
果樹の苗木を無料配布



苗木を求めて長蛇の列が

苗木の無料配布会が6月1日、役場前と川湯支所前で行われました。

町内の緑化推進のために毎年行われています。配布されたのはハスカップという果樹の苗木で、両会場で140本が用意されました。寒さに強く丈夫で、実も楽しめるそうです。会場では緑の募金も行われ、集まった方々が募金に協力していました。

**6月24日**  
エコミュージアムセンターの自然ふれあい行事  
イソツツジのお花畑を堪能



細川さんの説明を聞き参加者の皆さん

川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「イソツツジのお花畑を歩こう」が6月24日、川湯温泉街～硫黄山麓に広がるつつじヶ原自然探勝路で行われました。

講師は、長年、摩周や阿寒の植物を研究するとともに、地元の郷土史にも詳しい細川音治さん。参加者の皆さんは細川さんの説明を聞き、質問をしながら、約2.7キロを3時間ほどかけてゆっくり見て歩きました。町内から参加した男性は「近くでもなかなか歩く機会がなかった。いかに特殊で貴重な環境かが分かってとてもよかった」と話していました。

**6月23日**  
日本の伝統文化に触れる  
摩周おこと子ども教室が開講



楽しみながら箏の演奏を学ぶ

町の青少年健全育成事業「摩周おこと子ども教室」が、6月23日に開講しました。

箏(そう)の演奏を通して伝統文化に親しみ、礼儀作法を身につけてほしいと、生田流琴友会(辻谷武喜代会主)との共催で開催したものです。小学生13人が参加し、同会の皆さんの指導のもと、箏の練習を行いました。子どもたちは、10月まで全10回の練習を行い、閉講式での演奏会で成果を披露することになっています。

**6月9日**  
日ごろの文化活動の成果を披露  
チャリティ春のまつりにたくさんの観客



各団体の発表に見入る観客の皆さん

弟子屈町文化協会(木村光博会長)主催の第17回チャリティ春のまつりが6月9日、福祉センターで行われました。

同協会や各団体の活動成果の発表と、バザー収益の寄付を目的に毎年開催されています。芸能発表会には、バトントワラー弟子屈教室や生田流琴友会など10団体約100人が参加し、訪れた観客が盛んに拍手を送っていました。

**6月8日**  
ごみの分別を再確認  
二町内自治会が説明会を開催



説明に聞き入る参加者の皆さん

二町内自治会(鈴木幸栄会長)の皆さんが6月8日、東部こども館でごみ分別説明会を開催しました。

「自分たちでできることは自分たちの手で」を合言葉にしている同自治会ですが、最近、ごみの分別を怠ったり、何でも燃えるごみとして出していることが見受けられることから、分別についてあらためて確認しようと開催したものです。役場町民課衛生係の職員を講師に、ごみの分け方・出し方などの説明を受けました。参加者からは「大変勉強になった」との声が聞かれ、今後のごみの分別に自信を持ったようです。



つばい めいちゃん  
(4さい)

ゆなおねえちゃんと いっしょに おうちの うしやさんに なって うしのおせわをするの。うしがかわいくて いつも ぎゅうしやに いくんだよ。



奥春別森の保育園のおともだち



つばい ゆなちゃん  
(5さい)

おうちが うしやさん。かぞく みんなで うしのおせわをしているよ。うしやさんに なって こうしに ミルクを あげたり ちちしほりを したいな。

摩周湖観光協会の通常総会開催  
新年度の体制と事業計画決まる



総会であいさつする根津前会長

(社)摩周湖観光協会の平成24年度通常総会が、5月21日に開催されました。総会では、2年に一度の役員改選が行われ、17人の理事と2人の監事が選任されました。また、6月1日に開催された理事会では、正・副会長が決定しました。さらに、これまで2期4年間にわたり会長を務めてきた根津文博氏は、名誉会員に推挙されました。

今年度の事業については、摩周湖ブランドの再構築、まちと自然観光資源の一体化などを重点テーマとして掲げていきます。具体的には、次のような事業を通して、本町の観光振興に積極的に取り組んでいきます。

- ▼今年度の事業
  - 東アジアを中心としたインバウンド事業(外国人観光客誘致)の推進。
  - イベント開催による温泉街や飲食店の活性化。
  - 新しい湯治事業の支援。
  - 道東自動車道の夕張占冠間開通による利用増を見込んだ道央圏からの誘客事業など。
- ▼役員体制(敬称略)
  - (任期/平成24～25年度の2カ年)
  - 会長/木暮敏男(新任)
  - 副会長/井出雄策、鈴木繁、平塚一明(新任)、中嶋康雄(新任)。
  - 理事/若月玲児、武山秀樹、渡辺隆幸、瀬原栄一、藤井宏司朗、藤原将男(新任)、橋本聖(新任)、佐々木徳之(新任)、小泉裕(新任)、池田篤英(新任)、古瀬圭一郎(新任)、徳永則行(新任)。
  - 監事/加藤代八、古瀬文明(新任)
- 問い合わせ先/(社)摩周湖観光協会 ☎482-2200 まで。

ESHIKAGA  
図書館だより  
中央2丁目4番1号  
☎(よいほんいろいろ) 482-1616

☆蔵書点検に伴う特別休館  
図書館では、蔵書点検を行うため、次のとおり休館します。ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。

- ▼休館日/7月2日(月)～7月9日(月)
- ▼7月5日(日)の図書館バスBコースは、10日(火)に日程を変更して運行します。※本を返す際は、返却ポストにお入れください。
- ※7月10日(火)から開館します。

☆古雑誌を提供します  
保存期間の過ぎた雑誌をお譲りします。館内に展示しますので、ぜひご利用ください。

- ▼期間/7月10日(火)から(不定期終了)
- ▼場所/図書館内
- ※1人3冊までを目安にお選びください。
- ※取り置き希望などにはお応えできませんので、ご了承ください。

☆学校図書館の蔵書が確認できます  
弟子屈小学校・美留小学校・川湯中学校に学校図書館システムが導入されました。各校の蔵書検索は町図書館でできますので、ご希望の方は町図書館の窓口までお越しください。

We are enjoying !!  
サークル  
おじゃまします!  
グループ写楽  
代表・隅田 恒示 さん  
会員・6人



グループ写楽の皆さん  
後列中央が代表の隅田さん

グループ写楽は写真愛好家のサークルです。摩周湖の撮影を通して親交を深めた皆さんで結成。2004年に2人でスタートし、翌年メンバーが6人に、サークルの名前も「グループ写楽」となりました。

写真展の準備を行うメンバーの皆さん

皆さんが撮影した摩周湖は、私たちが見慣れた摩周湖とはひと味もふた味も違う表情のものばかり。代表の隅田さんは「地元の方でも、摩周湖の本当に美しい姿を知らない方も多いのではないかな」と思います。地元の方特に子どもたちに私たちの写真を見てほしい。ふるさとの良さを、あらためて知ってほしいと思います」と話していました。

新刊案内

おすすめの新刊

グレイメン 石川智健/著  
宝石店で働く遠太郎は、職場でのイジメに耐えかねて自殺を決意する。そんな遠太郎を救ったのは、灰色の服装に身を包む男「グレイ」だった…。ゴールデン・エレファント賞大賞受賞作。

- 「三匹のおっさん ふたたび」 貫井 徳郎/著 有川 浩/著
- 「ダーティママ、ハリウッドへ行く」 秦 建日子/著
- 「第四の消費 つなかりを生み出す社会へ」 三浦 展/著
- 「死ぬ権利は誰のものか」 ウィリアム・H・コルビー/著 大沢 在昌/著
- 「語りつつける、届くまで」 掛札 逸美/著
- 「乳幼児の事故予防」 橋本 俊詔/著
- 「介護食スイーツ」 代居真知子・鈴木理恵子/著 常光 徹/監修
- 「日本の妖怪すがた図鑑(全3巻)」 橋本 俊詔/著
- 「無縁社会の正体」 橋本 俊詔/著

たくさんのお待ちはお待ちしています!

# 社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちが非行に陥った少年たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

犯罪や非行が生まれるのは地域社会であり、罪の償い、改善更生を果たす場もまた、地域社会にほかなりません。罪を犯した人も非行のある少年も、いずれは改善更生し社会復帰します。犯罪や非行のない安全・安心な社会を築くには、地域社会の中に受け入れ、見守り、支えていくことが必要です。

急速な少子化や高齢化、核家族化が進む中で、家庭や学校の教育機能の低下、社会の規範意識の希薄化、わが国で伝統的に犯罪を抑制する要因として機能してきた地域社会の連帯機能の低下などが指摘されています。

このようなことから、今年度も学校を始め関係機関・団体の協力を得て、第62回「社会を明るくする運動」道東地方推進委員会実施要綱に基づき、弟子屈町

## 生活情報をみなさんにお知らせ!

# Information

### 連絡先

- 役 場 ☎ 4 8 2 - 2 1 9 1
- 川 湯 支 所 ☎ 4 8 3 - 2 0 4 3
- 屈 斜 路 支 所 ☎ 4 8 4 - 2 0 5 2

## 文化センターガイド 7月 アリーナ町民開放日

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
区	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
分	○	○	休	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1
区	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
分	休	○	○	○	○	○	休	○	○	○	○	○	○	○	休	○

◎=全面 ○=半面 休=休館日 (時間帯は18:00~21:00です)

6月7日現在の予定ですので、町民開放利用を希望する方は、文化センターにあらかじめお問い合わせください。

### 今月の主な行事予定

- 1~16日 AIE
- 21日 スポーツ少年団
- 26~29日 中標津高校女子バスケットボール部合宿

問い合わせ先  
釧路圏周観光文化センター ☎482-1811

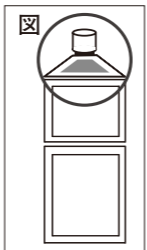
## スズメバチにご注意

夏本番の到来とともに、ハチが飛び回る季節がやってきます。また、ハチの巣の駆除依頼が多数寄せられる季節です。

ハチは、目に見える場所以外にも、換気口の中や屋根の裏など、雨が当たらないような場所にも巣を作ります。ハチの巣は、作り始めてから数日で想像以上に大きくなってしまふため、ハチを見かけたら巣ができていな

▼誘香液の作り方  
●用意する物/日本酒150cc・酢50cc・砂糖50g・75g・2Lのペットボトル・ひもか針金・カッター

①ペットボトルの○の部分(左図)に、カッターで台形の穴を4つ開ける。



▼日本酒・酢・砂糖を混ぜ合わせて誘香液を作り、ペットボトルの中に入れて木の枝などの日陰(雨水などが入らないところ)にひもか針金でつるしておく。誘香液の匂いに誘われてハチが中に入り、出られなくなる。

※ハチや虫が集まってきたら、歩行者などの通行場所や住宅の近くには取り付けないようにしてください。

※誘香液の効果は4~6日ほど持続しますが、ペットボトルが虫でいっぱいになったり、虫が寄り付かなくなったりしたら交換してください。

▼連絡先/弟子屈地区II役場町民課係 ☎482・2934(課直通) または弟子屈消防署 ☎482・2073、川湯地区II役場川湯支所 ☎483・2043まで。

## 休日公証相談を行います

▼日時/7月22日(日) 10時~16時  
▼場所/釧路公証人役場(釧路市末広町7丁目2番地 金森ビル)  
▼相談内容/遺言、相続、任意後見、尊厳死宣言、お金の貸し借り、賃貸借、離婚に伴う養育費・慰謝料・財産分与など。  
▼相談料/無料

## 土地の境界についてご相談ください

法務局では、土地所有者の皆さんから土地の境界についての相談を受けています。お隣の土地との境界が分からなくて困っている、測量した境界の位置に納得してもらえないなど、土地の境界については認

識の違いから度々問題が起こります。法務局では、こういった場合の対応のアドバイスを行ってまいりますので、お気軽にご相談ください。

また、相談内容によっては、法務局で行っている「筆界特定制度」を利用して解決できるかもしれません。

筆界特定制度は、法務局で扱っている土地の境界(筆界)の、現地での位置を特定する制度です。筆界特定制度は「裁判より手続きが簡単」「資料収集の負担が軽減される」などの利点があります。申請人になれるのは、土地の有権の登記名義人(登記上の所有

## 無料調停相談を行います

▼主催/釧路調停協会  
▼日時/7月10日(火) 10時~15時

※予約の必要はありません。  
▼場所/釧路市役所1階ロビー(市民ギャラリー)  
▼相談担当/民事調停委員・家事調停委員(釧路調停協会所属)  
▼相談内容/交通事故、金銭貸借、土地建物の紛争、遺産相続、家庭内の問題など、民事・家事に関するトラブルを解決する代表的な方法の一つである、裁判所での調停手続きの利用に関する相談。  
▼相談料/無料  
▼問い合わせ先/釧路調停協会事務局(釧路簡易裁判所内) ☎0154④4171内線111番まで。

## 7月 川湯屋内プールのお知らせ ☎483-2072

- 背泳ぎ教室(一般成人)  
◇日時/7、14、28日 14時~14時45分
- がんばれ水泳教室(25メートル泳げる成人)  
◇日時/④、6、⑪、13、⑱、20、⑳、27日 14時~14時45分  
※○は送迎バスあり(13時10分 公民館前発)
- 水中運動教室(一般成人)  
◇日時/5、⑫、⑲、⑳日 14時~14時45分  
※○は送迎バスあり(13時10分 公民館前発)
- 初心者水泳教室(一般成人)  
◇日時/1、8、15、29日 14時~14時45分
- 水中ジョギング教室(一般成人)  
◇日時/4、11、18、25日 10時30分~11時15分  
6、13日 19時~19時45分
- フリー教室(幼児・小学生教室参加の保護者)  
◇日時/1、14、15、28、29日 10時~11時30分
- 幼児水泳教室(幼児4~5歳)  
◇日時/1、14、15、28、29日 10時~10時40分
- 小学生水泳教室(初めて水泳を習う小学生)  
◇日時/1、14、15、28、29日 10時45分~11時30分
- 選手コース(摩周スイミングスクール所属)  
◇日時/1、4、5、6、7、8、11、12、13、14、15、16、18、19、25、26、27、28、29日 15時~17時



利用料  
●小・中・高校生/無料  
●一般/520円(税込み)

毎月第2・4土曜日は無料開放日!

休館日  
●今月の休館日(2、3、9、10、17、21、22、23、24、30、31日)

開館時間  
●10時~17時(水・木・土・日)  
●10時~20時(金)

(広告)

## 釧路司法書士会 土地・建物の売買・相続等の登記は司法書士へ

## 司法書士 宮越昭一事務所

事務所/標茶町開運2-35 ☎485-2107 FAX485-2108  
自宅/弟子屈町高栄1-1-21 ☎482-2457

# おはなしはらっぱ

7月

テーマ『ことばで あそぼ!』

- ☆21日/『はんたいことば』 ほか2冊
- ☆28日/『ことばのかくれんぼ』 ほか2冊

※7日は臨時休館(24ページ参照)のため、14日は夏まつりのためお休みです。

○時間/午後1時～ ○場所/弟子屈町図書館  
おはなしはらっぱは毎週土曜日午後1時! みんな集まれ!

## 川湯相撲記念館を無料開放

弟子屈町が生んだ名横綱・大鵬(納谷幸喜さん)の偉業と功績をたたえ、その功績を長く後世に残そうと建設された川湯相撲記念館。川湯相撲記念館を下記の期間、町民の皆さんに無料開放します。この機会にぜひ来館いただき、町の偉人である大鵬さんの輝かしい偉業と功績をご堪能ください。

- ▶対象/町民の方
- ▶期間/8月1日(水)～8月6日(月) 5時30分～21時
- 問い合わせ先/川湯相撲記念館 指定管理者 (有)やまな商店 ☎483-2924まで。

## 7月の町税などの納期限

今月の町税などの納期限は次のとおりです。納め忘れのないようにしましょう。

- ▶固定資産税2期 7月31日(火)
- ▶国民健康保険税2期 7月31日(火)
- ▶後期高齢者医療保険料2期 7月31日(火)

## 夜間納税窓口開設のお知らせ

日中、仕事などで役場に来られない方々のために、次の日程で「夜間納税窓口」を開設します。ぜひ、ご利用ください。

- ▶開設日/7月25日(水)
- ▶開設時間/午後8時まで
- ▶開設場所 役場庁舎・川湯支所
- 問い合わせ先 役場税務課 ☎482-2914 (課直通)まで。



## 救急法基礎講習の受講者を募集

日本赤十字社北海道支部釧路市地区では、赤十字救急法基礎講習の受講者を募集しています。

- ▼日時/7月22日(日) 13時～17時
- ▼場所/釧路赤十字病院4階講堂
- ▼内容/傷病者の観察の仕方と一次救命処置(心配蘇生法・AEDを用いた除細動・気道異物除去など、救急法の基礎。受講資格・定員/15歳以上の方・20人)
- ▼受講料/1千500円
- ▼応募締め切り/7月13日(金)
- ※定員になり次第、締め切りさせていただきます。

## 900草原を訪れる方にお願ひです

町営牧場では、家畜伝染病侵入防止のため、900草原レストハウスから先の場内について、関係者以外の方の立ち入りの自粛をお願いしています。町内の基幹産業でもある酪農を守るために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

- 問い合わせ先/役場農林課 政係 ☎482-2936 (課直通)まで。

## 道の駅展示コーナー

道の駅「摩周温泉」の展示コーナーは2カ月ごとに入れ替えを行い、町民の方の作品を中心に展示を行っています。7月からは、江口佑子さんの人形展と小林壽男さんの水墨画展を行いますので、ぜひご覧ください。

- ▼展示ギャラリー/江口佑子人形展 7月3日(火)～8月27日(月)
- ▼町民ギャラリー/小林壽男作品展 8月31日(金)まで
- 問い合わせ先/道の駅摩周温泉 ☎482-2500まで

## 摩周湖の外輪山を歩いてみませんか

川湯エコミュージアムセンターでは、自然ふれあい行事「初夏の摩周湖外輪山を歩こう」の参加者を募集しています。

- ▼期日/7月8日(日)
- ▼集合・解散場所/摩周湖第1展望台駐車場
- ▼対象/往復約8kmの登山道を歩ける体力のある方
- ▼参加費/300円(保険代)
- ▼定員/20人(定員になり次第、締め切らせていただきます)
- 申し込み・問い合わせ先/川湯エコミュージアムセンター ☎483-4100まで。

## 海上技術短期大学校の学生を募集

国立宮古海上技術短期大学校は、国土交通省所管の内航船員養成学校です。平成25年度の学生を募集しますので、詳しくはお問い合わせください。

- ▼選抜区分/AO入試・学校長推薦入試・自己推薦入試(2回実施)・社会人入試・一般入試・共通選抜入試
- 資料請求・問い合わせ先/国立宮古海上技術短期大学校 教務課 ☎0193-6215316まで。
- 畑 光昭 様(東京都)

## 寄付ありがとうございました

□平川 淳一 様(東京都)  
▼現金 30万円  
・環境にやさしい町づくり寄付。

# 町営住宅 入居者を募集します

役場では、次の期間で町営住宅入居者を募集します。入居者は、条件を備えている方から、困窮度などに応じて決定します。

- ▶受付期間/7月2日(月)～7月9日(月)(土・日曜日を除く)
- ▶受付窓口/役場建設課管理係・川湯支所
- ▶入居時期/7月下旬～8月上旬の予定
- ▶入居敷金/住宅料(月額)の3倍の額(緑団地単身者用は住宅料の2倍の額)

※入居要件、入居基準など、詳しくはお問い合わせください。  
※入居しようとする方、同居しようとする親族などが暴力団員である場合は、入居が認められません。  
□問い合わせ先/役場建設課管理係 ☎482-2941 (課直通)まで。

公募対象住宅一覧表					
団地名・構造	建設年度	規模	月額住宅料	戸数	備考
新泉ヶ丘団地(木造平屋建)※特定目的住宅	H19	2LDK	23,800～35,500円	1	68.00㎡
※みはらし台団地(中層耐火4階建)	S52	3DK	15,100～22,600円	1	61.13㎡(4階)
※みはらし台団地(中層耐火4階建)	S54	3DK	15,900～23,700円	1	62.18㎡(3階)
美留和団地(簡易耐火平屋建)	S52	3DK	9,000～13,400円	1	53.61㎡
古丹団地(簡易耐火平屋建)	S44	2DK	3,900～5,800円	1	31.72㎡
川湯駅前団地(簡易耐火平屋建)	S47	2DK	5,300～7,800円	1	37.18㎡
緑団地(簡易耐火2階建)	S51	3DK	10,800～16,100円	2	59.99㎡
※緑団地単身者用(中層耐火3階建)	H6	1DK	30,000円	3	47.40㎡(2・3階)

注1 ※印の団地は、管理費が毎月200～3,000円程度かかります。(団地によって異なります)  
注2 場合によっては募集内容を変更することがありますので、あらかじめご了承願います。  
注3 新泉ヶ丘団地は特定目的住宅(高齢者などの世帯向け住宅)とし、高齢者の方や障がいのある方、戦傷病者の方を優先して選考します。

## 文化賞・文化奨励賞の表彰候補者を推薦してください

町教育委員会では、10月10日(水)に文化賞と文化奨励賞の表彰式を行います。対象者は次のとおりとなっていますので、各団体などを通じ候補者を推薦してください。

- ▶各賞の対象
- ・文化賞/科学・芸術・教育などを通じて文化の進展

に貢献し、その事績が顕著な個人および団体。  
・文化奨励賞/文化賞に該当しないが、事績が顕著で将来が嘱望される個人および団体。

- ▶推薦締め切り/7月31日(火)
- 問い合わせ先/教育委員会社会教育課社会教育係 ☎482-2948 (課直通)まで。

## 募集 自衛官・各種学生

平成25年3・4月採用の自衛官と各種学生を募集します。



種目	資格	試験日
自衛官候補生(男子)	18歳以上27歳未満の方	9月18日(火)・19日(水)・20日(木)
自衛官候補生(女子)		9月24日(月)
一般曹候補生(男子・女子)	高校を卒業した(見込みを含む)方で21歳未満の方	9月17日(月)
航空学生		9月22日(土)

□問い合わせ先/自衛隊帯広地方協力本部釧路出張所 ☎0154-21053

# Monthly Schedule

今月のこよみ

月	火	水	木	金	土
1	3	4	5	6	7
8	10	11	12	13	14
15	16	17	18	20	21
22	24	25	26	27	28
29					

■問い合わせ先 / 保健福祉課 ☎482-2935 ・ 町民課 ☎482-2934 ・ 税務課 ☎482-2914 ・ おひさま保育園 ☎482-2444 ・ 子育て支援センター「ひなたぼっこ」 ☎482-5667

▼ストーブに火を入れてオホーツク高気圧を恨む6月でした。7月は夏らしい陽気の下、野外で伸び伸びと体を動かしたのです。そんなあなたに毎年恒例のえこパスポートがおススメです。町内の良い所を、バスに乗って再発見してみたいかがですか？ロンドンオリンピックも始まりますが、節電にもご協力をお願いします。(秋山)

▼広報紙の編集に使っているパソコンの不調で幕を開けた6月。普段、その便利さを享受するばかりの私ですが、当たり前の幸せに甘えてばかりではないということ、物事に「絶対」はないこと、万が一に備えておくことが大切だということ、あらためて思い知らされました。今後の教訓にしたいと思います。(宮田)

## 編集後記

**人のうごき** 5月末現在

●人口計 8,156人 (マダラ7)

●世帯数 4,003世帯 (マダラ7)

●お誕生おめでとうございませう

和田 悠輝ちゃん 男(英二) 高来 4  
平野 鈴華ちゃん 女(祐介) 泉 1

**お悔やみ申し上げます**

奥村 千里さん(59歳) 鈴蘭 4  
菅井 喜久さん(83歳) 美里 4  
鈴木 良市さん(79歳) 中央 3  
玉井 虎雄さん(73歳) 美里 4  
千葉 ハルユさん(92歳) 中央 3  
堀内 豊治さん(82歳) 南弟子 屈  
森田 正二さん(93歳) 桜丘 3  
佐藤 辰美さん(83歳) 泉 1

※お誕生とお悔やみは、5/1~5/31に届け出をされた方のうち、掲載を希望された方のみ掲載しています。

# ひとつになつたよ



かのう みなと ちゃん

かわかみ ゆうと ちゃん

そぶえ まさお ちゃん

たむら ゆま ちゃん

なぐも めん ちゃん

はやし やまと ちゃん

ゆあき ゆうひ ちゃん

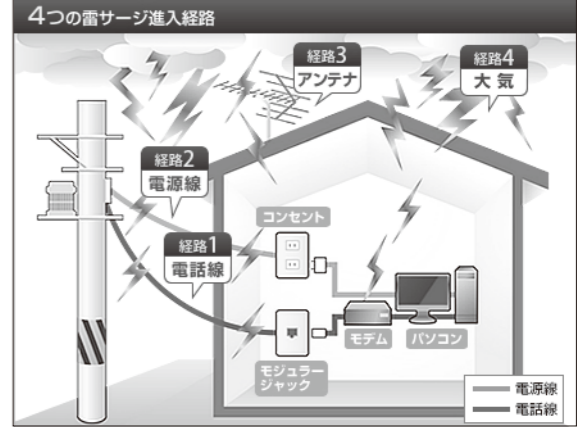
よしだ ほうせい ちゃん

## 危険!!雷による事故を防ごう!!

落雷による被害が毎年、全国各地で発生しています。落雷に遭わないためには、天気予報などで雷の発生しやすい状況を知ることです。もしも突然、稲光が起これば「ゴロゴロ」と音が鳴ったら要注意です。すぐに安全な場所へ避難するようにしましょう。

電流が電線などを伝わり、配線や電化製品を燃焼させる場合があります。被害を防ぐため、電源ケーブルはできるだけコンセントから抜いておくことが望ましいです。

- 安全な場所への避難**
- 外にいる時は、家の中に避難する。
  - 外出中の場合は、大きな建物の中や車の中に避難する。
  - 家の中では、部屋の真ん中にいるほうが安全です。
- 外出先での注意点**
- 広い場所にいるときは姿勢を低くしてしゃがむ。
  - 大きな木には近づかないようにする。(落雷の危険性があるため)
  - 山では頂上や岩場が最も危険なので、くぼ地に移動する。



**火事と救急は119番 弟子屈消防署**

5月末までの出動件数

火災	4件
救急	203件

☎482-2073 E-mail:teshikaga.fire.119@bird.ocn.ne.jp